

令和4年度独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
契約監視委員会（持ち回り開催）議事概要

開催日	令和4年6月2日（木）～6月10日（金）
場所	—
出席委員氏名（敬称略）	委員 竹内 啓博 （公認会計士・税理士）
	委員 藤村 博之 （法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授）
	委員 本寺 大志 （コーン・フェリー・ジャパン株式会社）
	委員 中山 洋 （独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構監事）
	委員 野口 新太郎 （独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構監事）
【審議事項】	
1 競争性のない随意契約 （1）令和3年度に契約締結した競争性のない随意契約の案件について （2）令和4年に契約予定の案件で令和3年度に随意契約協議書により点検を実施した競争性のない随意契約の案件について	
2 一者応札・応募の改善 （1）令和3年度に契約締結した調達案件で一者応札・応募となった案件について （2）令和3年度に契約締結した一者応札・応募となった調達案件で前回調達も一者応札・応募であった案件（2か年連続一者応札・応募案件）について （3）令和3年度に入札等を実施して令和4年度より履行開始する調達案件で一者応札・応募となった案件について （4）令和3年度に入札等を実施して令和4年度より履行開始する調達案件で前回調達も一者応札・応募であった案件（2か年連続一者応札・応募案件）について	
3 調達等合理化計画 （1）令和3年度調達等合理化計画の自己評価結果について （2）令和4年度調達等合理化計画案について	
【審議の進め方】 資料について、担当部署（経理部契約第一課。以下同じ。）が作成した補足説明資料を委員が確認した後、令和3年度の契約状況等について契約事由、競争性確保の妥当性、改善方策の妥当性等について検討・点検を行い、次に令和3年度調達等合理化計画の自己評価に係る点検、令和4年度調達等合理化計画案に係る点検を行った。	

審議の内容等	
<p>【審議案件】</p> <p>1 競争性のない随意契約であった調達案件に関する点検</p> <p>(1) 令和3年度に契約締結済の調達案件(363件)</p> <p>担当部署から、随意契約理由の類型に応じて、点検対象となった契約の状況、随意契約となった理由について補足資料により説明を行った。</p> <p>2 一者応札・応募であった調達案件に関する点検</p> <p>(1) 令和3年度に契約締結済の調達案件(339件)</p> <p>担当部署から、調達の類型に応じて、点検対象となった調達案件の一者応札・応募等に係る改善措置の状況及び2か年連続一者応札・応募となった調達案件について、案件毎のフォローアップ票(53件)に基づき、2か年連続一者応札・応募となった要因と改善方策について説明を行った。</p> <p>3 調達等合理化計画に関する点検</p> <p>(1) 令和3年度調達等合理化計画の自己評価結果に係る点検</p> <p>担当部署から、同計画に係る自己評価の取組について補足資料により説明を行った。</p> <p>(2) 令和4年度調達等合理化計画の策定に係る点検</p> <p>担当部署から、同計画に係る評価指標等について補足資料により説明を行った。</p>	
主な意見・質問及び回答	
<p>【審議事項】</p> <p><意見> ・随意契約であっても事前点検を行うとともに、価格交渉により19百万円の削減効果を上げたことは評価できる。</p> <p>・契約の点検・見直しに関する機構の取組みは、適切であると認められる。</p>	
【点検の結果】	各委員から、全ての審議案件について、「適切であると認められる。」との評価を得た。